

表 鳥類-2 数値基準の凡例区分

生息の有無	1：あり	2：なし							
分布パターン	1：1ヶ所のみ	2：2-5ヶ所	3：6-10ヶ所	4：まばら	5：普遍	6：偶産			
分布面積	1：100km ² 未満	2：100-5,000km ²	3：不明						
生息環境の消失危険度	1：極大	2：大	3：あり	4：なし	5：好転				
生息概数	1：絶滅状態	2：50未満	3：50-250	4：250-1,000	5：1,000-2,500	6：2,500-10,000	7：10,000以上		
個体数の増減	1：急減 (80%以上)	2：顕著に減少 (50-80%)	3：減少 (30-50%)	4：減少傾向 (10-30%)	5：増減なし	6：増加傾向	7：増加	8：急増	9：変動大
信頼度	1：正確に把握	2：ほぼ把握	3：おおむね把握	4：かなり不明	5：ほぼ不明				

生息の有無，分布パターン，分布面積，生息環境の消失危険度，生息概数は2011年～2020年の最近10年間の状況（可能な限り最新の状況）。

個体数の増減は前回改訂時の期間（2001～2011年）と今回改訂時の期間（2012～2023年）との比較により判定した。